

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	地域ニーズに即した都市公園ストックの再編													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	神戸市													
計画の目標	地域ニーズを汲み上げ機能再編を主とした再整備を行うことにより、地域の子育て支援等に資する都市公園ストックのより一層の活用を目指す。 それにより、まちのにぎわいの創出や公園利用者の増加につなげる。 上位計画における位置づけ：「神戸市緑の基本計画」第7章.施策の展開 2.まちのゾーン 方針2- 時代のニーズに対応した公園施設のリニューアルと適切な保全、方針2- シンボルとなる公園の魅力向上 ：「K O B Eパークリノベーション（神戸の未来を創造する身近な公園の再生計画）」第5章.施策を力強く推進するモデル事業「にぎわいのある公園づくり」													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		310	A	310	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	再整備を実施した公園における利用者数の10%増加（再整備を完了した公園において公園の利用実態調査を実施し、公園再整備前より利用者数の10%増加を目指す） （公園利用者増加率）= {（再整備後の調査において把握した1日あたり利用者数）-（再整備前の調査において把握した1日あたり利用者数）} /（再整備前の調査において把握した1日あたり利用者数）×100	0%	%	10%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	都市公園ストック再編事業（湊川公園）	機能再編を主とした再整備	神戸市						60	1.34	-
	A12-002	公園	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	都市公園ストック再編事業（多聞台中央公園等）	多聞台中央公園等における機能再編を主とした再整備等	神戸市						250		-
											小計						310		
											合計						310		

事 後 評 価

事後評価の実施体制、実施時期	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事後評価の実施体制</div> 令和 7 年度 神戸市建設事業外部評価委員会	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事後評価の実施時期</div> 令和 7 年 9 月 9 日（第 1 回）、11 月 7 日（第 2 回）
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">公表の方法</div> 神戸市ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・湊川公園において、隣接する庁舎の改修にあわせ老朽化した施設を撤去し、地域のニーズに即した遊具や健康遊具等を設置することで、整備前と比較して多くの市民の公園利用を促進した。 ・その他の公園においても、地域のニーズを把握しながら、公園の再整備を実施し、整備前と比較して多くの市民の公園利用を促進した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・湊川公園において、設置した遊具(ふわふわドーム)は常に人が集まっている状況であり、午前から昼過ぎは主に未就学児、放課後は小学生を中心に利用されていた。また、テーブルベンチが並ぶ休憩スペースは、将棋や碁を楽しむ高齢者の交流の場となり、その多くは日常的に利用されている。
特記事項（今後の方針等）	
・引き続き、社会情勢の変化に伴う地域ニーズを的確にとらえ、より一層地域の住民が利用しやすい公園整備を促進するため、R2～R6の計画期間終了後もKOBEパークリノベーションに基づき、他の拠点公園についても継続的に事業に取り組んでいく。	

案件番号：

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	公園利用者増加率		
	最 終 目標値	10%	目標を達成した
	最 終 実績値	30%	